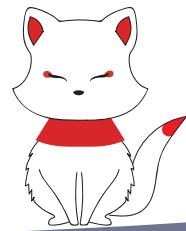
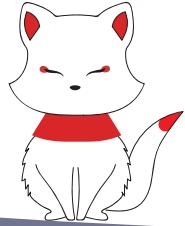


季節の
展示

初午



2025.1.25(土)ー2.24(祝)

市原歴史博物館

i Museum Center



住所：千葉県市原市能満 1489 会場：博物館エントランスホール

料金：無料（ただし、常設展示を観覧する場合は下記料金）

常設展示観覧料（一般個人 300円、一般高校生 200円、中学生以下無料）

*20名以上の有料観覧者がいる場合、団体料金適用（各100円引）

開館時間：9:00-17:00（入館は30分前まで）休館日：月曜（祝日の場合は翌平日）

アクセス：JR五井駅よりバス20分（市原歴史博物館下車※土日祝日運休）

問い合わせ：0436-41-9344 Web：<https://www.imuseum.jp>

【概要】

2月の最初の午（うま）の日は「初午（はつうま）」と呼ばれ、稻荷神の祭りの日です。全国各地の稻荷神社で豊作、商売繁盛、開運、家内安全が祈願されます。令和7年の初午の日は、2月6日（木曜日）です。

市原市内では、海沿いの地域から牛久・鶴舞辺りまで行われていた行事で、主に商売繁盛や豊作を祈願して、各地域の稻荷神社で祭りが行われていました。現在でも姉崎や今津朝山などの沿岸部で続けられていますが、徐々に行われなくなっています。

今回の展示では、最も盛んに行われている今津朝山地区の飯奈里神社を中心とした初午行事である「稻荷講」の様子を、五軒宿と田中地区から寄贈された資料の中から、その歴史や風習を紹介します。かつての人々はどのように豊作や商売繁盛を祈っていたのでしょうか。思いを馳せてみて下さい。

【展示解説会】

（日付）令和7年2月8日（土曜日）

（時間）11：45～、14：30～

※各回30分程度

（料金）参加無料

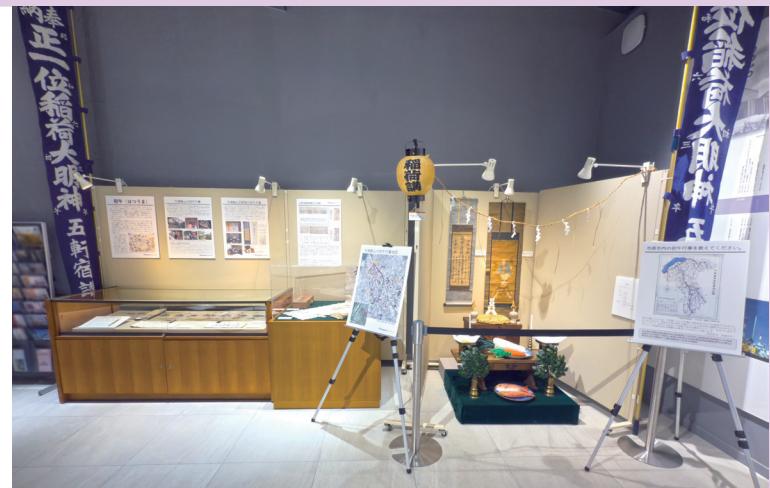
（集合）歴史博物館エントランス

（定員）20名程度

【お知らせ】

展示開設会当日は、いちはら郷土学習講座「鷹野館長の発掘調査歴—初代館長の足跡—」も2月8日の10：00～11：30から開催します。

当日9時30分から博物館受付で申込みを受け付ます。先着50名です。



展示の様子



令和6年度寄贈資料



【交通アクセス】

JR内房線五井駅東口3番バス乗り場から
「市原歴史博物館・中央武道館」行に乗車（約20分）
終点「市原歴史博物館」下車徒歩約2分（**土日祝運休**）

JR内房線八幡宿駅西口1番バス乗り場から
「山倉こどもの国」行に乗車（約15分）
「山田橋東」下車徒歩約10分（**土日祝運休**）

自動車でお越しの場合

館山自動車道「市原インターチェンジ」から約6km
駐車場あり（乗用車61台、バス3台、障がい者用2台）